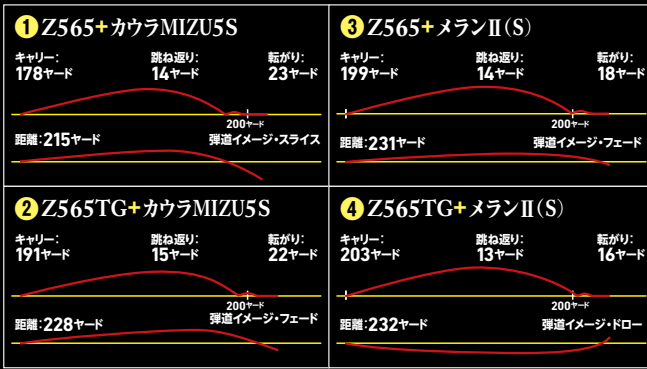


	① Z565 + カウラMIZUS	② Z565TG + カウラMIZUS	③ Z565 + メランII(S)	④ Z565TG + メランII(S)
打出角	10.2	15.3	15.7	16.9
ボール初速	54.2	53.2	55.7	55.6
打出方向	4.4左	1.9左	0.8左	3.1右
キャリー	178	191	199	203
トータル距離	215	228	231	232
バックスピン	2735	1797	2179	2441
サイドスピン	277右	100左	3左	205左

弾道計測器「GC2」での計測値。ヘッドスピード40%前後のゴルフに「Z565 TG」がよりマッチする結果になった  
 ミヤザキ メランII ●フレックス:SR,S / 調子:中 / 重量:49g / トルク:5.7度 ※データはSフレックス  
 ミヤザキ カウラ MIZUS ●フレックス:R,SR,S / 調子:中 / 重量:54g / トルク:3.8度 ※データはSフレックス



「スリクソンZシリーズドライバー」に高弾道でつかまるモデルが登場  
 4月22日発売の「Z565 TG ドライバー」(以下TG)はスリクソンZシリーズの追加モデルの位置づけで、ヘッド形状は「Z565 ドライバー」(以下Z565)と瓜二つだが、味付けがかなり異なっている。ヘッドは、「Z565」と比べて重心距離が3%短く、重量が2g軽くなっているため、つかまりと振り抜きのよさが向上しているという。また、TGのために新たに設計された「ミヤザキメランII」はSで49g、アベレージモデル並みの軽さ。トルクもSRで5.8と大きめで、スベック的には「Z565」と「セクシオ」のほぼ中間にあたる。つまり、「Z565」は少ししんどいが、「セクシオ」を使うのはまだ早いと考えている人にはちょうどよさそう。もちろん自分もこれに当てはまる。

「Z565」と「セクシオ」のほぼ中間にあたる。つまり、「Z565」は少ししんどいが、「セクシオ」を使うのはまだ早いと考えている人にはちょうどよさそう。もちろん自分もこれに当てはまる。すぐにでも「TG」を打ちたかったが、はやる気持ちを抑えつつ、まずはレギュラーモデルの「Z565」の後に「TG」と「Z565」のヘッドとシャフトを入れ替えて打ってみることにした。リメイクされたヘッドと新設計のシャフト、それぞれの特徴を見極めるため、ネジを緩めるだけでシャフト交換ができる「クイックチューンシステム」は「こういふときにありがたい」。

ヘッドだけ、シャフトだけでも上がりがやすさ、つかまりやすさを実感できる  
 「Z565」自体、アスリートモデルの中でつかまりは悪くない。だが、いかんせん振り切れないのは明らか。左に打ち出せばフェアウェイの幅には収まるものの、計測データをみてもスライス回転が多い。これを重心距離の短い「TG」のヘッドがどう改善してくれるか。「Z565」の標準スベックである「ミヤザキカウラMIZUS」を入れて打ってみた。結論から言えば、「TG」のヘッドは確かにつかまる。「Z565」は、打ち出し角も低い典型的なスライス球になっていたが、ヘッドを「TG」に交換すると、それだけでドロー回転がかかるようになった。初速はほとんど変わらないが、打ち出し角が上がって、スピンも減ったおかげでキャリーが13ヤードも伸びた。

ヘッドとシャフトの相乗効果で完璧なドローが打てた  
 「Z565」のヘッドは確かにつかまる。「Z565」は、打ち出し角も低い典型的なスライス球になっていたが、ヘッドを「TG」に交換すると、それだけでドロー回転がかかるようになった。初速はほとんど変わらないが、打ち出し角が上がって、スピンも減ったおかげでキャリーが13ヤードも伸びた。次に試したのは、「Z565」のヘッドに「ミヤザキメランII」を入れたもの。これでクラブ重量は5g軽くなった。ヘッド重量の2gの差はほとんど感じ取れなかったが、今度はクラブを握った瞬間から明らかに軽い。その割にヘッドが感じられるので思い切って振ることができ、ボール初速も一気に上がった。また、速く振れているせいか「Z565」のヘッドのつかまり

ヘッドとシャフトの相乗効果で完璧なドローが打てた  
 「Z565」のヘッドは確かにつかまる。「Z565」は、打ち出し角も低い典型的なスライス球になっていたが、ヘッドを「TG」に交換すると、それだけでドロー回転がかかるようになった。初速はほとんど変わらないが、打ち出し角が上がって、スピンも減ったおかげでキャリーが13ヤードも伸びた。次に試したのは、「Z565」のヘッドに「ミヤザキメランII」を入れたもの。これでクラブ重量は5g軽くなった。ヘッド重量の2gの差はほとんど感じ取れなかったが、今度はクラブを握った瞬間から明らかに軽い。その割にヘッドが感じられるので思い切って振ることができ、ボール初速も一気に上がった。また、速く振れているせいか「Z565」のヘッドのつかまり

ヘッドとシャフトの相乗効果で完璧なドローが打てた  
 「Z565」のヘッドは確かにつかまる。「Z565」は、打ち出し角も低い典型的なスライス球になっていたが、ヘッドを「TG」に交換すると、それだけでドロー回転がかかるようになった。初速はほとんど変わらないが、打ち出し角が上がって、スピンも減ったおかげでキャリーが13ヤードも伸びた。次に試したのは、「Z565」のヘッドに「ミヤザキメランII」を入れたもの。これでクラブ重量は5g軽くなった。ヘッド重量の2gの差はほとんど感じ取れなかったが、今度はクラブを握った瞬間から明らかに軽い。その割にヘッドが感じられるので思い切って振ることができ、ボール初速も一気に上がった。また、速く振れているせいか「Z565」のヘッドのつかまり



**短重心化でつかまりがアップ!**  
 ウェイト配分の調整により、レギュラーモデルと比べて重心距離が約3%短くなり、重量は2g軽量化。また、ライ角が出荷時に2度アップライトに設定されているので、さらにボールがつかまりやすい

**格好よくて使いやすい、こんなクラブが欲しかった**  
 「『TG』は、既存モデルをただ軽くしたり、シャフトのスペックを落としたりというだけではなく、コンセプトをしっかり立てて作り込まれたモデルであることが分かりました。個人的には『Z565』のヘッドをあえて流用したところに好感が持っています。私のようにアベレージゴルファーでも格好いいクラブを使いたい人や、アスリートモデルを使うには少し体力が落ちてきたけれど『セクシオ』はまだ早いと思っている人にお勧めします」

**軽量化でヘッドスピードアップ!**  
 ヘッドで2g、シャフトで5g、トータルで7gの軽量化を実現(フレックスS)。振り抜きのよさで、ボール初速と打ち出し角がアップして、楽に飛ばすことができる



ギア担当 編集部長Kが検証  
**スリクソン Z565TG**

**Z565とZ565TGを発売前に打ち比べてみた**  
**ドライバーはどれだけやさしく飛ばせる?**



ヘッドスピード40%前後で、野球打ちの癖が抜けにくい典型的なスライサーながら「格好いいドライバーを使いたい」と願う編集部長K。「そんなクラブがあるわけない」と部内でツッコミを入れられながらも諦めきれず、あらゆるドライバーを試打した末に巡り合ったのが「スリクソンZ565 TG ドライバー」だ。「スリクソンZ565 ドライバー」のアスリート感そのままに、よりつかまる高弾道」というコンセプトには、Kでなくともそそられるが、実際のところ、どれほどやさしく飛ばせるのか。Kによる検証レポートをお届けする

取材協力=ゴルフ&フィットネスポイント芝浦  
 写真=金子 洋、石塚 康隆



ヘッド形状は「Z565」とまったく同じ。コスメガチタングレーになったことで投影面積が大きく見えて、安心してつかまえられるようになった

**気持ちよく振り切れる40g台!**  
 「スリクソンZシリーズ」史上最軽量、40g台の「ミヤザキメランII」はしっかり振り切れる。トルクも大きめなので、無理なくボールをつかまえることができる

**スリクソンZ565TGドライバー**  
 ■ヘッド素材/フェース:6AL-4Vチタン鍛造、ボディ:8AL-2Vチタンロストワックス精密鍛造  
 ■ヘッド体積/460cc ■ロフト角/9.5-10.5度 ■ライ角/59.5度(工場出荷時)  
 ■長さ/45インチ ■シャフト/ミヤザキメランII ■フレックス/S,SR  
 ■クラブ重量/302g(S) ■バランス/D1(S) ■価格/6万8000円(税抜き)  
 ※9.5度は特注生産です。